

2021年8月吉日

理事長就任のごあいさつ

大島 尚

拝啓

紫水京自主管理組合員の皆さまには、コロナ禍ときびしい残暑の中で、何かと不自由な生活を送られていることと存じます。ご健康にはくれぐれもご留意くださるようお願いいたします。

私は、本年8月14日に開催された組合総会におきまして、第20期の理事長に選任されました大島尚（おおしまたかし）と申します。昨年の総会において、第13期から第18期まで6年間理事長をお務めくださった老川信喜様が健康上の理由で退任されたため、第8期から第12期まで理事長を務められた大塩（旧姓橋本）江津子様が第19期理事長を臨時でお務めくださいました。組合設立の第1期から第7期まで精力的に活動し、今日の組合の道筋をつけてくださった和田武理事長から数えて、私が4人目の理事長ということになります。私自身も、3人の理事長をお手伝いする立場でおりましたが、お三方ともそれぞれに豊富な知識と高い実行力を備えてリーダーシップを発揮されました。その後を継ぐのはまことに心もとないのですが、紫水京を大切に思う気持ちに違いはないと思っておりますので、何とぞよろしく願いいたします。

自主管理組合の目的は、紫水京の「資産価値」を保ち、さらに高めることにあると考えます。価値は、当然のことながら「お金」で測ることができますが、私は40年以上にわたり大学で心理学を教えてきたこともあり、もう一つの価値も合わせて保ち、高めたいと思っています。それは、「心が感じる価値」すなわち「しあわせ感」です。私の父が紫水京に別荘を建てたのは、私が大学生だった50年前のことで、それ以後は家族ともども自然に囲まれた別荘生活に「しあわせ感」を持ち続けました。土地をお持ちの方も、日本有数の別荘地である軽井沢に土地を所有していることに、ぜひ価値を感じていただきたいと願っています。紫水京の資産価値を保ち、高めるために、自主管理組合理事一同の「ボランティア活動」にご理解とご協力を賜りたく、切にお願い申し上げます。

敬具